



クラブテーマ
ここに平和を

名古屋 名北ロータリークラブ Weekly Report

2012~2013 年度 No. 47

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 創立：昭和56年3月4日
 例会場：ΛPΛ HOTEL 名古屋錦 中区錦三丁目 15-30 (052) 953-5111
 事務局：名古屋市中区錦三丁目 15-30 ΛPΛ HOTEL 名古屋錦 560 号室
 (052) 961-2399 (直通) (052) 953-5111 FAX (052) 961-2391
 E-mail : meihokrc@beach.ocn.ne.jp

会 長：小關 敏光 幹 事：古川 康司 会報委員長：近藤 朗 題 字：遠藤 友彦

1 年間ご協力、ご支援

ありがとうございました

退任挨拶



会 長 小關 敏光

昨年 7 月に始まった今年度も、なんとか無事に終えることができました。これも、皆様のご支援・ご協力の賜であり、感謝申し上げます。

振り返れば、この 1 年間、例年になく早いガバナー補佐訪問にはじまり、ガバナーの公式訪問、地区大会等々の行事があり、家族忘年会が終わると、なんとなく会長の役割も分かるようになり、半田南 R.C. 及び名古屋葵 R.C. との合同夜間例会、IM、5 ロータリー合同夜間例会が終わると大きな行事もなくなり、次年度の準備が開始されるようになり、いよいよ次年度の開始が待たれるようになりました。

そして、最終の夜間例会 IDM では、多くの皆様にご参加いただき、今年度を終えることができました。感謝の気持ちで一杯です。

一年間、本当にありがとうございました。

退任挨拶



幹 事 古川 康司

小關会長の下で、「ここに平和を」を唱え、一年間邁進してまいりました。私にとって、大変充実し、勉強させて頂いた一年でした。これもひとえに、理事・役員・委員長を始め、会員の皆様方のお力添えの賜物と心より感謝申し上げます。

当初は、私のような若造に幹事という大役が務まるのかと、自問自答の毎日でした。しかし、自分自身は無力であり、諸先輩方に助けて頂き、教えて頂きながら皆の力で進めていくのだ

と悟った時、肩の力が抜け、気持ちが楽になりました。事務局のお二人にも感謝致します。

ガバナー補佐訪問後、名北ロータリークラブは、一番アットホームでまとまりがあるクラブだと評価して頂いております。この素晴らしいクラブがますます発展・繁栄しますよう、祈念しまして挨拶に代えさせていただきます。一年間、有難う御座いました。

本日の例会 (第 1550 回) 7/3 (水)

◆新年度第 1 回例会を行います。

次回の例会 (第 1551 回) 7/10 (水)

◆クラブフォーラムを行います。

第 1549 回例会記録 6/19 (水) 雨

◆司 会 尾関 正一君

◆斉 唱 RS・それでこそロータリー

◆来訪者受付 蒲郡 RC 本田 宏宣君 他 22 名

出席報告

会 員 数	37 名	前々回訂正	1547 回例会
欠席会員数	5 名	欠席会員	5 名中
出席会員数	32 名	MAKE UP	4 名
出 席 率	86.49%	出席率訂正	97.22%

会 長 挨拶



会 長 小關 敏光

みなさん、今晚は、今年度最後の夜間例会となります。1 年間、ご支援・ご協力いただき、誠にありがとうございました。

さて、今日は、今から 30 年前の昭和 58 年 (1983 年) に NHK で放送され国民的ドラマと言われた「おしん」の話をします。今年は、「おしん」の 30 周年ということで、NHK の BS プレミアムで 1 月 6 日から毎週日曜日の朝 10 時から 6 話分 (90 分間) を放送していますので、前回までのあらすじをお話します。

「おしん」(小林綾子、田中裕子、乙羽信子) は、本名は「谷

村しん」、明治34年(1901年)に山形県の最上川上流の寒村に生まれました。父は「谷村作造」(伊東四郎)、母は「ふじ」(泉ピン子)。「谷村家」は、5反の小作地と2反の自作地を持つ零細農家で、いくら働いても家族が食っていきけるだけの収入のない貧しい農家でした。「おしん」は7歳の時(明治40年頃)に奉公に出され、一度逃げ出して実家へ帰りますが、2度目に奉公に出た酒田市の米問屋「加賀屋」で、大奥様「八代くに」(長岡輝子)に見込まれて、読み書きそろばんをはじめ、お茶や裁縫、帳簿付けまで加賀屋の長女「加代」と一緒に仕込んでもらい、当時の女性としては十分な躰(教育)を受けました。

17歳の時(大正8年頃)に知り合った小作農解放運動をしていた「並木浩太」(渡瀬恒彦)と知り合い初恋をします。これがきっかけで「加賀屋」を辞めて、一旦は実家に戻りますが、「おしん」を酒盛り女中に売ろうとしていた父作造の目を盗んで、母ふじに助けられて東京へ行き、「髪結い」をしている「長谷川たか」(渡辺美佐子)の内弟子となります。3年後に独立した「おしん」は、実家へ仕送りをするようになり、父に家を建てさせてやります。

一方、「幸太」にあこがれて家出して東京へ出ている「加賀屋」の長女「加代」(東てる美)と3年ぶりに東京で再会した「おしん」は、「加代」を説得して酒田の「加賀屋」へ帰郷させます。「加代」は酒田で結婚して、「加賀屋」を継ぐこととなります。この「加代」との縁で知り合った「田倉羅紗店」の若き経営者「田倉竜三」(並木史朗)に見込まれ、大正11年(1922年)に竜三家族(佐賀の大地主)の反対を押し切って結婚し、翌12年1月に長男「雄」を出産します。「田倉商会」も「おしん」の努力により子供服の製造で大繁盛するようになり、借入れをして土地を購入し、工場を建築しますが、その完成祝いの当日(大正12年9月1日)、「関東大震災」により全ての財産を失います。

無一文となった「おしん」一家は、夫の実家を頼って佐賀へ1家3人で帰りますが、夫の母「田倉清」(高森和子)に極端な「嫁いびり」をされ、第二子を身籠もりますが、出産した直後に子どもが死んでしまいます。そこで、「おしん」は、もうこれ以上は佐賀にいられないと、長男「雄」と2人で家出する決意を固めました。大正13年(1924年)初冬のことでした(第136話)。

「おしん」は、全297話(74時間15分)という大長編なので、まだまだ苦難の人生が待っているようです。

幹事報告

1.本日は本年度最終の夜間例会及びI.D.M.です。ごゆっくりお寛ぎ下さい。

2.名古屋北ロータリークラブ会員の浦野三男君が作成されました次年度国際ロータリーテーマのカレンダーを頂きましたので、同封致しました。

3.次週6月26日(水)は定款第6条第1節C項により休会と致します。従いまして、次回例会は7月3日(水)の新年度第1回例会となりますので、お間違えのないようお願い致します。



星川直志君並びに
星川須美子様へ
マルチプル・ポール
ハリスフェローのピンが
贈られる

— 本年度最終のI.D.M.を開催 — アパホテル名古屋錦



ニコボックス

足立陽一郎君 ゴルフ友の会、図々しくも今期2回目の優勝させていただきました。

梅村美知容さん 世界大会に21日より行って来ます。ありがとうございます。

藤原 研一君 過日の御苦労様会、残金ありましたので。

西脇 良一君 息子が結婚しました。

【本年度最後の例会となりました。一年間ありがとうございます。】

小關 敏光君	遠藤 友彦君	横井 尚啓君	半泊 與則君
梶川 久雄君	岩田 満治君	尾關實津成君	渡邊 泰彬君
星川 直志君	横井 登君	木村 雅一君	古川 康司君
尾関 正一君	加藤 昌之君	石黒 勉君	香田 研二君
宇都木 寧君	柘植 勝介君	伊藤 晋一君	加島 光君
阿部 美男君	柴山 利彌君	北村紀子さん	入江由希子さん
藤原 研一君	赤崎 守弘君	西脇 多吉君	加藤あつこさん